

府立万博記念公園		指定管理者:万博記念公園マネジメント・パートナーズ		指定期間:平成30年10月1日～平成40年9月30日		所管課:日本万国博覧会記念公園事務所	
評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価	評価	大阪府の評価	評価	評価委員会の指摘・提言	
			(S~C)		(S~C)		
I 提案の履行状況に関する項目							
(1)施設の設置目的及び管理方針	管理に関する基本的な考え方に沿った管理運営が出来たか。						
(2)平等な利用を図るための具体的手法・効果	平等利用に努めたか。						
(3)公園エリアの賑わいづくり・観光拠点化に向けた方策 (4)施設の管理運営の適格性、サービス向上及び活性化の方策 (5)安全・安心・快適な利用の確保	文化・観光拠点形成・発信の取組みは適切に実施されたか。 ・インバウンドを増やすための効果的な投資 ・観光拠点形成に向けた集客性が高く継続性のある事業 ・文化・芸術活動を行う場としての利活用 ・多数の方が訪れる観光拠点とするための広報戦略						
	自然文化園・日本庭園の利活用、博覧会の遺産(レガシー)の利活用及び自然環境を活かした取組みは適切に実施されたか。 ・太陽の塔、EXPO'70パビリオン、日本庭園(茶室を含む)、自然文化園の森(自然観察学習館を含む)の利活用及び維持管理 ・自然文化園及び日本庭園において実施したイベントや自主事業による投資	(記載例) 【実績】 ・太陽の塔に関しては、入館枠延長による観光客(団体)の誘致を実施した(入館枠延長による来館者数:〇〇人)。また、〇月に新たな仕組みにより、キャンセル率の低下を図った(平均キャンセル率〇%⇒〇%)。 ・パビリオンに関しては〇月～〇月に企画展「〇〇」を実施し、博覧会の遺産(レガシー)の継承を進めた(企画展来場者〇〇人)。 ・自然観察学習館に関しては、これまで実施してきた〇〇教室に加え、自然体験型のイベントやワークショップを実施した(参加者数:〇〇人) ・日本庭園イベントに関しては、これまで実施していた〇〇イベントに加え、新たに〇つのイベントを実施した。 【自己評価】 太陽の塔、パビリオン、自然観察学習館においては、〇〇イベントや団体誘致により昨年の入館者数を上回った。また、観光拠点化に向けた〇〇の取り組みなど、来園者サービスの向上を行った。 日本庭園イベントについては、事業実施計画において提案したイベントに加え、新たな〇〇イベントには人気タレントを起用するなど、これまで万博公園に來られていなかった新たな層の引き込みを行った。	S	(記載例) ○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。 ○博覧会の遺産(レガシー)や自然環境を活かした取り組みについて、積極的かつ効果的に取り組んだことは高く評価できる。 ○特に日本庭園において新たなイベントやコンテンツの展開など、さまざまな層にアプローチする工夫は高く評価できる。ただし、新たな〇〇イベントは応募時の提案の範囲内であるため、さらなる提案を期待する。	A	(記載例) 事業実施計画書及び提案事項等に沿った内容を適切に実施できている。また、新たなイベント等の取り組みは高く評価できる。引き続き、万博公園のレガシーを大切にしたり取り組みに努められたい。	
	運動施設の利活用等の取組みは適切に実施されたか						
(6)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	園内移動手段の確保は適切に実施されたか						
	快適性・サービス向上に関する取組みは適切に実施されたか						
	トラブルの未然防止や、発生した際の処理方針、今後の管理への反映がなされたか。						

評価項目	評価内容	指定管理者の自己評価		大阪府の評価		評価委員会の指摘・提言
			評価 (S~C)		評価 (S~C)	
(6)施設の維持管理の内容、適格性及び実現の程度	草地管理、芝生地管理、樹木管理、草花管理、花木等管理等について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	(記載例) 【実績】 ・草刈りに関しては、エリアごとに適切な回数を実施した。 ・〇月と〇月に薬剤散布し、メリケントキンソウ等の有害雑草の駆逐に努めた。 ・芝生管理に関しては、エリアごとに適切な回数を実施した。 ・樹林地管理に関しては、大阪府と協議の上、適切に間伐、枝抜き、支障木の除去等を行った。 ・草花管理に関しては、「チューリップの花園」、「花の丘」及びその他の花壇について適切に植付・防除・撤去等を行った。花壇については季節感を演出するため、11月までに〇回の植え付けを行い、新たに〇〇や〇〇など魅力ある品種を導入した。 【自己評価】 事業実施計画書の提案に沿った樹木管理等を計画的に実施できた。日々の巡視等による危険木の〇〇や〇〇等の撤去をはじめ、利用者の安全を第一に考えた管理を着実に実施した。また、自然文化園内においては〇〇の品種の変更、その他の花壇等においても新たに〇〇品種の植え付けを行うなど、継続的に魅力的な景観を創出した。	A	(記載例) ○当該年度の事業実施計画書に示した事項を全て実施。かつ、応募時の提案を満足する取組みを実施している。 ○危険木・折れ枝の対策については、日常点検により発見し、着実に対策を実施した。 ○植え付け品種の変更などにより、長期的かつ継続的な魅力創出を実施したことは、評価できる。	A	(記載例) 事業実施計画書及び提案事項などに沿った樹木管理等が適切に行われている。危険木等への対応など、公園の状況に応じた対応が行われていることが評価できる。引き続き、適切な維持管理に努められたい。
	点検・補修・修繕を適切に行ったか(法定点検、日常点検、修繕の実施について確認)					
	園内清掃について、良好な管理を行ったか。(頻度および技術について確認。)	(記載例) ○清掃状況点検表を入口等の見やすい位置に掲示することにより、清掃状況を利用者目線でわかりやすくお知らせし、安心して利用していただくことができた。 ○繁忙期やイベント前後におけるトイレ清掃においては、事業実施計画書記載の数量を一部満たしていなかったが、来園者からの要望を踏まえ、〇月よりイベント前後等特に汚れの激しい時期について、計画以上の臨時清掃を実施した。 【自己評価】 ○各トイレ内に掲示して清掃状況をお知らせする清掃状況点検表を、見やすい位置に掲示するなど、利用者目線に立った案内表示を行った。また、来園者からの要望を踏まえ、計画以上の臨時清掃を実施した。	B	(記載例) ○当該年度の事業計画書に示した頻度が実施できていない部分もあり、かつ美しい景観や衛生的な環境を確保できていなかった。 ○特にGWやイベント前後の繁忙期において、ゴミや汚れが目立ち、来園者からの苦情・要望が多く改善が必要である。 ○繁忙期の利用状況に併せて、清掃計画を見直し、改善に努められたい。	C	(記載例) 事業実施計画書で示した事項が実施できておらず、繁忙期等において、利用頻度の多い園路やトイレなど、ゴミや汚れが目立つ箇所が多数見受けられた。加えて、来園者からの苦情・要望も多かったことから、入園者数の増加も踏まえた維持管理計画を再度検討し、適切な維持管理に努められたい。
	園内施設について、良好な運営・維持管理を行ったか。					
	利用者の安全確保対策の具体的方策。(日常巡視や瑕疵の早期発見、事故の未然防止及び早期対応、衛生管理や防犯対策などが適切に実施できたか。適正なタイミング・手法の補修が実施されたか。予防保全となる対応について確認。)					
	危機管理体制。(非常時対応について、訓練や研修を実施したか。)					
(7)府政策との整合	応募時の提案を実施できたか。					

II さらにサービスの向上に関する事項

(1)利用者満足度調査等	アンケート結果はどうであったか。これを受けて業務改善を行うか。					
(2)その他創意工夫	提案した事項以外に行った業務があるか。					

III 適正な管理業務の遂行を図ることができる能力及び財政基盤に関する項目

(1)収支計画の内容、適格性及び実現の程度、経理関係	収支は予定どおりか。支出超過、収入不足となっていないか。					
(2)安定的な運営が可能となる人的能力	管理体制表及び職員配置計画。(応募時に示した管理体制を構築したか。)					
	必置技術者等の配置。(技術者を配置したか。)					
(3)安定的な運営が可能となる財政的基盤	法人等の経営状況。(経営状況に問題は無い。指定管理業務の継続に影響を与えないか。)					

平成〇〇年度総合評価
